

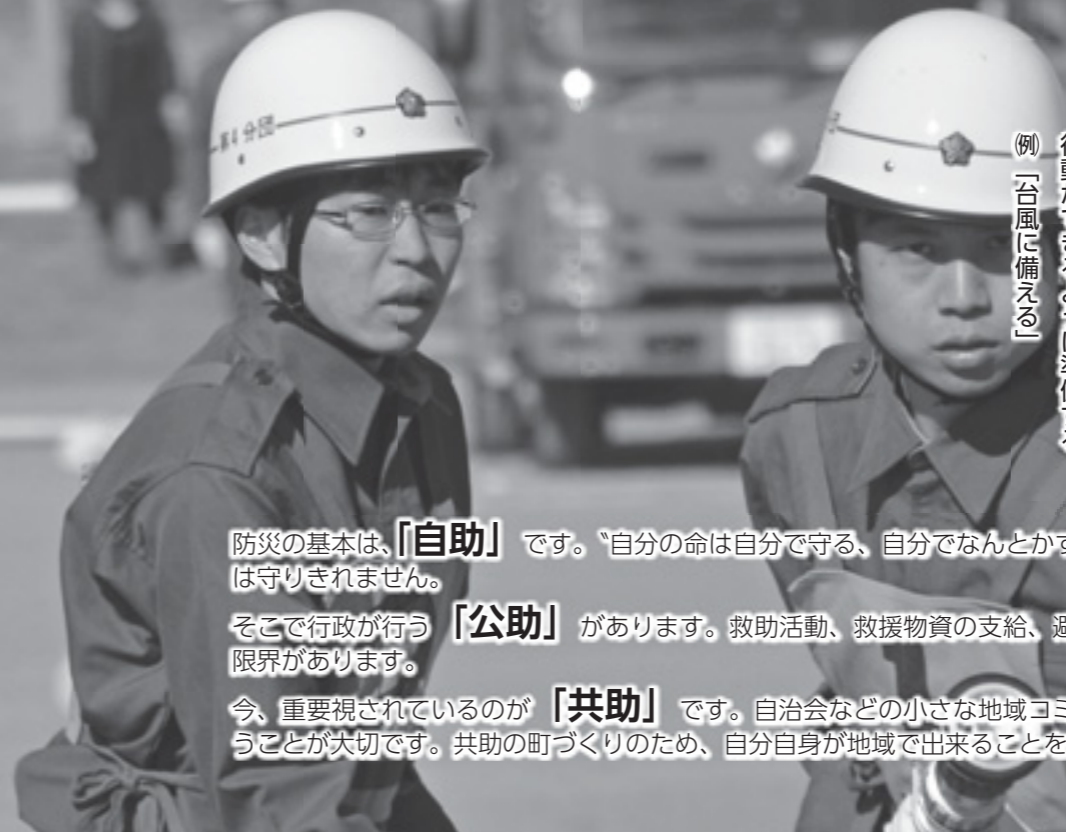
備えろ

助け合える
地域コミュニティ

そな・える「備える」(下二自他)

物事が起こった時それに応じて行動ができるように準備する。

例「台風」に備える



防災の基本は、「自助」です。「自分の命は自分で守る、自分でなんとかする」ということです。しかし、自分だけでは守りきれません。

そこで行政が行う「公助」があります。救助活動、救援物資の支給、避難所の指定や耐震化工事等ですがこれにも限界があります。

今、重要視されているのが「共助」です。自治会などの小さな地域コミュニティ単位で団結し災害発生時に助け合うことが大切です。共助の町づくりのため、自分自身が地域で出来ることを考えてみませんか？

消防団とは

消防団は、消防組織法に基づき設置されている消防機関です。地域における消防防のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担います。

団員は平成28年4月時点で本郡を含め、174人が在籍し、各々の仕事と消防団活動を両立して頂いております。「私たちの地域は私たちが守る」という強い使命感を持ち、火災や災害に備え様々な場面を想定した訓練を行っております。

消防団は満18歳から入団でき、その身分は非常勤特別職の地方公務員となります。また、活動に危険が伴うため活動服や安全靴の貸与、補償制度、退職報償金制度が設けられています。

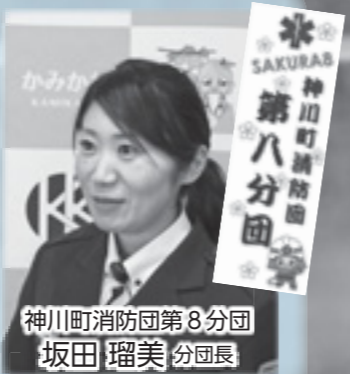


神川町消防団 和久井 佳明 団長

昨今の災害において、消防団に求められる活動は火災だけではなく、地震をはじめその他の災害における救助・救出、避難誘導、危険箇所の警戒活動など、様々な災害に迅速に対応できるよう求められております。

今年4月の熊本地震では、消防団員により倒壊家屋から多数の住民が救出された活動が報告されております。こうした活動により、高い地域密着性や大きな要員動員力を有する消防団の役割の重要性が再認識されたものと考えており、神川町消防団においても様々な災害に迅速に対応できるよう訓練を実施しております。

また、第8分団(通称SAKURA8)に女性消防団員を配置し、予防啓発や応急手当の普及指導などを行っております。



神川町消防団第8分団 坂田 瑠美 分団長

私たち第8分団「SAKURA8」は、発足から4年、現在19名で活動中です。

年間を通し防火訪問や応急手当の普及活動を行っております。普及活動では地域や各種団体に指導できるまでになりました。コスモまつりではブースを設け、沢山の方々に興味を持っていただけるような取り組みも行っています。

団員として様々な知識を得るために積極的に研修に参加し、災害図上訓練や、他地域の女性消防団との交流を深めています。

今後も訓練や活動を通して救命や防災知識等を取直し、いざという時に少しでも地域のために活躍できるように、女性ならではの細やかな気遣い、元気のパワーを発揮し、地域に密着した女性消防団を目指していきます。

心肺蘇生法

その口は呼吸やしているか



ざわ... ざわ...

大丈夫ですか？



【反応の確認】

誰かきてえ~!!



【大きな声で応援を呼びましょう】



救急車を！ AEDを！

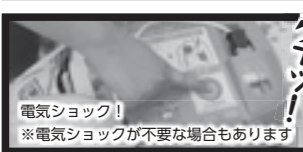


【呼吸の確認】
胸が上下しているか見る



離れて！

電気ショックが行われるときは危険ですので傷病者を触らないこと



電気ショック！
※電気ショックが不要な場合もあります



【AED音声案内に従い操作】

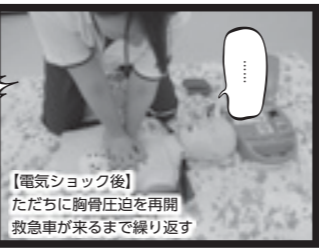


胸骨圧迫

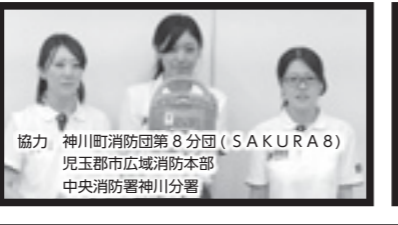
【呼吸なし】
胸骨圧迫(強く、早く、絶え間なく)



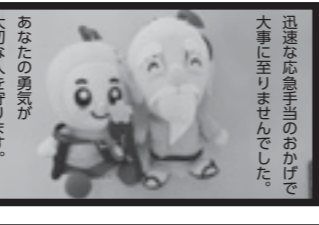
119番通報
救急車到着



【電気ショック後】
ただちに胸骨圧迫を再開
救急車が来るまで繰り返す



協力 神川町消防団第8分団(SAKURA8)
児玉郡市広域消防本部
中央消防署神川分署



迅速な応急手当のおかげで大事に至りませんでした。
大切な人を守ります。
あなたの勇気が

AED [自動体外式除細動器]

Automated External Defibrillator

心停止の際等に機器が自動的に心電図の解析します。心室細動を検出した際に除細動を行い正常な心臓のリズムに戻す医療機器。



YouTube

AEDを使用した心肺蘇生法の動画はこちら▶

